

- P2 経営支援レポート
元気印 ズームアップ
- P4 年頭挨拶
- P5 青年部・女性部だより
- P6 女性部主張発表全国大会
最優秀賞受賞報告
- P7 「シオクリビト」PR施策について
- P8 掲示板

ニュースクリップ News Clip

あ 商 ぎ 不 け ない 工 たら す 人 び と ふ く し ま 商 ・ 工 ・ 人

2023.1.1
Vol. 399



P2に掲載

大熊町からイイモノを ～創業100年 まちの雑貨屋の再出発～

大熊町・株式会社鈴木商店



P3に掲載

縁ある人たちの幸せを創造する企業を目指して ～デザイン経営によるブランド構築～

中島村・株式会社 楽縁



元気印

経営支援レポート

ズーム

アップ

県内2地域の商工会からがんばっている会員企業をご紹介します。みなさんの経営のヒントになるお話もたくさんいただきました。是非、ご感想を福島県商工会連合会までEメールにてお寄せください。(fukuren@do-fukushima.or.jp)

県中・県南

中島村商工会

縁ある人たちの幸せを創造する企業を目指して
～デザイン経営によるブランド構築～



株式会社 楽縁
代表取締役 緑川 亮氏

住所 〒961-0102
福島県西白河郡中島村大字滑津字大池向6番地8
連絡先 TEL:0248-21-7753 FAX:0248-21-7754
営業時間 9:00～17:30
URL HP:https://rakuen-ark.com/
Facebook:https://www.facebook.com/rakuen.ark/
Instagram:https://www.instagram.com/rakuen2011/

【事業所紹介】

西白河郡中島村において、1997年2月に緑川工務店を創業いたしました。その後、2011年2月に株式会社楽縁を設立し、良質な木材を活用したデザイン性と機能性に優れた一般住宅の新築工事、リフォーム工事、外構工事を中心とした木造建築工事を主に営んでおります。当社は、お客様の生活に“時間の余裕”と“心のゆとり”を生み出すためにシンプルな暮らしを提案しております。

また、一般住宅の他に店舗デザイン・設計・施工、更にはショールームのデザインやブランディングまで幅広く対応しております。お客様からは、当社の「技術力」「設計・デザイン」「スタッフ対応」にとても高い評価を頂いております。



【経営方針】

周囲からの信頼があること(人間性)、社員同士が互いに磨き合い共に成長できる笑顔の職場を作ること(科学性)、人と社会、地球にやさしい家づくりを追究すること(社会性)、この三つを企業理念としています。当社は女性が多い職場でもあり、育児をしながらでも安心して働ける職場づくりに取り組んでいます。

【商工会支援内容】

新型コロナウイルスやウッドショックの影響により収益が悪化していた為、事業の再構築の必要性を感じる中、新規事業の確立の為に商工会への支援を依頼しました。はじめに自社の現状を客観的に理解する為に『ローカルベンチマーク』を活用した<業務フローや商流>等の非財務情報をもとにした分析を行い、経営全体を様々な視点から整理しました。その結果、改めて自社の強みや課題に気づくことができる良い機会となりました。その後、『経営デザインシート』を活用し、自社の価値を生み出す仕組みを把握し、10年後のありたい姿(将来像)に向けて、今後取るべき戦略を一緒に考えて頂いたことで、「本当にやりたいことは何か」、「目標の実現の為に必要なことは何か」を整理し、具体的に行動に移すことができました。現状と将来について、時間をかけて考えたことで、長期的展望にたった戦略の方向性を決めることができました。自身の考えや想いを聞いて頂き、目標実現の為にサポートをして頂ける商工会はとても心強い存在だと感じました。



【今後の目標】

社員は会社の財産であり、社員の生活が充実することは個人の新たな発想や気づきに繋がり、会社の成長に繋がると考えます。仕事と家庭の両立、多様な働き方が実現できる職場を目指すことで、社員一人一人がスペシャリストとして輝ける環境を作りたいです。10年後の将来実現に向けて“住(住宅建築部門)”以外の“衣(衣類販売部門)”、“食(飲食部門)”の新規事業を立ち上げ、当社のブランドを構築し、事業拡大を図ることで中島村や地域の方々への恩返しができるかと考えています。



浜通り

大熊町商工会

大熊町からイモノを
～創業100年 まちの雑貨屋の再出発～



株式会社鈴木商店
代表取締役 鈴木 真理氏

住所 〒979-1306
福島県双葉郡大熊町大字大川原字南平1207-1
連絡先 TEL/FAX:0240-23-7670
営業時間 10:00～18:00
定休日 土日祝日
URL https://www.suzuki-syoten.jp

【事業所紹介】

大正2年に曾祖父が創業し、東日本大震災まではJR大野駅西口の商店街にて日用雑貨、化粧品、薬等の小売店を営んでおりました。震災により避難を余儀なくされ、『このまま鈴木商店は無くなってしまおうかな...』と思ってしまうこともありましたが、大熊町大川原地区が復興拠点として避難指示解除されることに伴い、帰還される町民の方の生活利便性確保の為、同地区に整備される商業施設への入居意向確認が商工会から届き、町内での事業再開を決断いたしました。商業施設が完成するまでの間、仮設店舗等での営業を続け、令和3年4月より、大熊町商業施設『おおくまーと』で営業しております。



大熊町にお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。お待ちしております。

【経営方針等】

『大熊町で毎日をもっと楽しくなるイモノ』を販売コンセプトに令和3年4月の商業施設『おおくまーと』オープンから雑貨の取り扱いを増やし、日常生活に必要なものだけでなく、ご来店いただいたときに、少しでも楽しいと思っていただけるようなお店づくりを心掛けております。少しずつ広がってきたお客様やお取引先とのつながりで、町マスコットキャラクターコップなどの手作り商品や大堀相馬焼、オリジナルブレンドのコーヒー豆など一期一会を大切に結び、商品を取り揃えております。



【商工会の支援内容】

震災後、全町避難した町民の皆様への生活必需品配給に鈴木商店が対応するにあたり、配給品を集約・配送する倉庫を避難先の会津若松市内で一緒に探し回ったことが、大熊町内での事業再開支援のきっかけとなりました。

大川原地区に建設される商業施設への入居意向調査の際に、現代表者の『鈴木商店を無くしたくない』との思いを受け、大熊町での事業再開についての家族会議にも出席し、事業承継も含めた、町内事業再開計画の概要を説明しました。その後、組織変更や事業承継について支援を行い、現在は、店舗運営、販路開拓及び経理処理について継続支援を行っています。将来的な目標である新店舗建設については、建設地に必要な条件や該当支援施策概要の説明を行っており、町復興整備計画の進捗状況を考慮しながら、各種申請支援を行う予定です。

【今後の目標】

将来的には、大熊町のお土産など鈴木商店厳選商品を取りそろえ、ご来店いただいたお客様が楽しんでいただけるような時間と空間を併せ持つ店舗を作りたいと思っています。



その一歩として、鈴木商店オリジナル商品第一弾となる大熊町にちなんだ『お皿』を試作中で、令和5年度中の販売開始を目指しています。

青年部 だより

～ふくしまルシェ開催～

福島県商工会青年部連合会主催の「ふくしまルシェ」が10月9日(日)いわき市小名浜のアクアマリンパークにて開催され、県内外から約6,000人強の来場者がお越しになりました。風評被害払拭を主目的とした事業であり、当日はいわきFC、福島レッドホープスの選手の方々にお越しいただき、子供たちと触れ合いながら食の安全性などPRしていただきました。また検温消毒など感染症対策徹底の上、来場者にはリストバンドをつけていただき密になりすぎないよう人数制限等も行いました。



女性部 だより

～令和4年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡ開催!～

令和4年11月24日(木)、郡山市「郡山ビューホテルアネックス」に於いて令和4年度商工会青年部女性部合同トップセミナーⅡが開催されました。

今年のトップセミナーⅡのテーマを『withコロナ～これまでの取り組みと今後の取り組みについて～』と題し、青年部から「豊國酒造合資会社 9代目蔵元杜氏 矢内 賢征様」、女性部から「お菓子の蔵太郎庵 取締役 目黒留美子様」に、自社での企業努力や今後の目標などを交えご講演いただきました。その後、10月9日(日)に開催した「ふくしまルシェ報告」を県青連赤坂淳副会長より、何か出来ないか検討を重ねた結果、大変多くの皆様にご来場いただき、無事開催出来たとの報告がありました。パネルディスカッションでは、パネリストからテーマに沿った活発で貴重な意見交換がされました。主張発表報告会では、全国大会で最優秀賞を受賞された滝根町商工会女性部常任委員 石田美由紀さんより「女性部活動に参加して～再生は地域とともに『きむコロ物語』～」を発表いただき、大変有意義なセミナーとなりました。



パネルディスカッション登壇者

ファシリテータ

福島県商工会青年部連合会
副会長 赤坂 淳

パネリスト

ENOGU 代表 宗像 康弘 様
豊國酒造合資会社
9代目蔵元杜氏 矢内 賢征 様
お菓子の蔵「太郎庵」
取締役 目黒留美子 様
福島県商工会青年部連合会
会長 菅野 昭則
福島県商工会女性部連合会
会長 二瓶恵美子

地元企業と地域に心から頼られる専門集団として

福島県商工会連合会 会長 轡 田 倉 治



令和五年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員並びに役員

員の皆様には、日頃から地域経済の発展と地域振興の原動力となつてご活躍をいただいておりますこと、心から敬意を表しますとともに、厚くお礼申し上げます。さて、本県は、人口減少や高齢化に伴う人手不足や需要の低迷、東日本大震災及び原発事故、さらには近年頻発している自然災害などの課題に加え、ALPS処理水の海洋放出に対する風評被害の懸念など、多くの課題が山積する中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響や原油・原材料の高騰など、経済悪化を引き起こす要因が幾重にも重なり、会員事業者の経営環境は、かつてなく厳しい状況にあります。

こうした中、昨年は、各種支援金や助成金、特別貸付融資をはじめ、持続化いきいき支援の補助金支援事業、雇用確保の支援事業等に継続して取り組むとともに、事業承継に関する関係機関との連携協定による拡充強化、現場の声をもとに、国、県等への要望活動を行うなど、会員事業者に寄り添った経営支援の充実強化を図り、心(しん)から頼られる商工会として、コロナや災害に負けない、力強いふくしまの商工業の再生を目指して各般の事業に取り組んで参りました。

特に、本会独自の「シオクリビト」生産者の人柄が溢れる「通販事業を拡大し、消費喚起や需要の掘り起こし」の販路開拓支

援を充実強化するとともに、マーケティングを実施しての分析をもとに得られた好事例を周知・提案しての企業収益改善支援を幅広く展開してまいります。また十一月には、知事を囲む商工会代表者会議を開催して、「中小企業・小規模事業者支援対策の拡充強化」「原子力災害及び頻発する自然災害の克服と県内産業の復興・再生に向けた支援強化」「商工会における経営支援体制の機能強化」について知事に要望しました。

新年は、引き続きウイズコロナ対策、省エネ対策やインボイス制度対策、自然災害からの復旧支援、風評払拭などに取り組むなど、中小企業・小規模事業者に寄り添った地域密着の支援機関として、刻々と変化する経営環境を機敏に捉えながら、より一層きめ細かな伴走型支援を実践していかねばならないと考えております。そのため、「商工会は、行きます!聞きます!提案します!」の会員満足向上運動を積み重ねながら、会員の皆様のニーズに応えられるよう、職員一人ひとりが会員事業者の抱える課題の真因を見極める支援能力の向上に努め、会員事業者の持続的発展を応援してまいります。

この未曾有の難局を、八十八商工会と県連が一丸となって乗り越えられるよう全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様方の一層のご理解ご協力ご支援をお願い申し上げます。

結びに会員の皆様並びに関係各位にとりまして今年が明るい一年となりますよう、心よりご祈念申し上げます。ごあいさついたします。

ふくしまプライドで逆境を乗り越え、ふくしまを希望の地へ

福島県知事 内 堀 雅 雄



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

私は、去る十月の知事選挙におきまして、県民の皆様への御支持を頂き、引き続き、県政を担わせていただくこととなりました。皆様からの御期待をしっかりと胸に刻み、福島県の未来を切り拓くため、全力で挑戦を続けてまいります。

福島県は、未曾有の複合災害からの復興はもとより、急激な人口減少、度重なる自然災害からの復旧、新型コロナウイルスの感染拡大防止、さらには原油価格・物価高騰への対応など、幾多の困難な課題を抱えております。そうした中で、挑戦を絶えず「シンカ(進化・深化・新化)」「させながら、様々な逆境を乗り越えることにより、「ふくしまプライド」を更に光り輝かせていくことが重要と考えております。

まず、震災と原発事故からの復興・再生につきましては、復興の状況に応じた被災者の生活再建や事業・産業の再生、帰還環境の整備などに取組むとともに、廃炉と汚染水・処理水対策や、風評の払拭と風化の防止、移住・定住の促進など、様々な課題に全庁一丸となって取り組んでまいります。

次に、人口減少対策につきましても、結婚から子育てまでの切れ目のない支援や、「福島ならではの教育を推進していくほか、食・運動・社会参加を柱とする健康づくりに力を入れ、全国に誇れる健康長寿県を目指してまいります。

また、農林水産業や商工業、観光業など、既存産業の振興はもとより、新産業の創出・集積等を通じて、若者の県内定着・還流や魅力ある雇用の場づくりなどに取り組んでまいります。

さらに、新型コロナウイルス感染症につきましては、引き続き、県民の皆様に対し感染防止対策の徹底をお願いするとともに、国や市町村、関係団体等と緊密に連携しながら、感染拡大の防止と確実な医療の提供に取り組んでまいります。加えて、物価高騰等に対しては、需要喚起策や金融支援などにより、生活の安定と経済の維持・再生を図ってまいります。

これらの取組を含め、県の総合計画に掲げた目標を一つ一つ着実に実現させながら、福島県の定義を「被災の地」から「希望の地」、さらには「復興の地へと変えるべく、全力で福島県未来を切り拓いてまいりますので、今後とも、一層の御支援、御協力をお願い申し上げます、新年の御挨拶いたします。



「シオクリビト」PR施策について

福島県商工会連合会ECサイト事業 人柄にじむ福島通販[シオクリビト]は、生産者の何気ない日常から人柄を紹介し、そこから商品に興味を持ってもらうEC (Emotional Commerce) サイトとして2021年9月に運営を開始しました。

2年目である今年も福島全域の事業者をめぐり、1年目に45人だったシオクリビトが80人になりました。幅広く活躍する方々を取り上げることができ嬉しく思います。今年度のシオクリビトはコンテンツ拡充のみならず、認知獲得に重きを置き、WebとリアルでさまざまなPRを実施しました。大きく3つの施策に分けてご報告いたします。



前期に比べ大きく数字を伸ばすことができたが、広告運用終了後は得た認知による自力のPRが課題となる。



Instagramでは広告記事の投稿が2900いいねを獲得。さらに通常のバナー広告に比べ、費用対効果が非常に高くなった。

まずは知られるところから

一つ目の施策は「SNS広告」です。認知拡大を目的に長期的に配信運用してきました。結果として運用を開始した8月以前よりセッション数では470%、注文総数では400%向上(12月時点)しました。

SNS広告はFacebookやTwitterなどのアカウントがあれば誰でも簡単に、少額から始めることができます。

例えば、お店の名前で検索した人へおすすめの商品を紹介したり、お得な情報をSNS広告を介して配信することもできます。取り組むまでの最初の障壁は高いですが、相性がよければ大きな効果を生むことができます。

第三者に紹介してもらう

二つ目の施策として、「記事広告」を活用し、Webメディアからのアクセス獲得を図りました。第三者を介して他己紹介してもらうことで商品やサービスについて語ってもらうことで新たな発見があったり、言いたいけど自分ではなかなか言いにくいことを読者に伝えてくれます。

WebメディアはSNS広告と組み合わせることで、より大きな効果を生むことも可能です。現在シオクリビトについて二つのメディアで記事が掲載されていますのでご覧ください。

ヒトから入ってモノも好きになる一期一会を楽しむネットショッピングの新しいカタチ / colocal
[https://colocal.jp/topics/think-japan/local-action/20221026_152226.html]



ECサイトに革命!“仕送り”みたいな通販が、まったく新しい購買体験を届けてくれた / ROOMIE
[<https://www.roomie.jp/2022/11/914416/>]



リアルでは深く伝える

三つ目は「リアルイベント」です。日々の小さなイベントでも、中々無い大きなイベントでも顧客との接点を最大化することにより、口コミや購買に繋がります。これまでオンラインが主なPRの場だったシオクリビトにとってリアルの方は多くの情報を顧客に伝えることができ、コミュニケーションを取ることができる重要な機会でした。

シオクリビトの認知度はまだまだ高くないが故に、個性的なサービスとして多くの来場者の方にお話を聞いていただきました。その後のアンケートの結果では、平均90%以上の方が「シオクリビトで商品を買ってみたい」と回答をいただきました。中にはその場でシオクリビトにアクセスし、購入されるお客様もいらっしゃいました。

ご協力いただいたシオクリビトのみなさま、ありがとうございました。



商品の他、シオクリビトが掲載されたリーフレットを配布。持ち帰ることができる媒体があることで、後々のアクセスや情報の伝播、購買につながれる。



GOOD DESIGN AWARD 2022

NEWS

シオクリビトが「2022年度グッドデザイン賞」、「第10回Webグランプリ企業 BtoCサイト賞 優秀賞」を受賞しました！詳細は福島県商工会連合会PRESSリリースよりご覧ください。

[<https://f.do-fukushima.or.jp/aboutshokuoren/press/>]



第23回商工会女性部 全国大会inみやぎ

みやぎの感謝のおもてなし 想いとともに前へ

女性部主張発表全国大会

最優秀賞受賞

石田 美由紀さん

(東北北海道ブロック代表 滝根町商工会女性部)

第23回商工会女性部全国大会が令和4年10月25日(火)～26日(水)に宮城県仙台市「仙台国際センター展示棟」において全国から1,600名を超える方が参加し盛大に開催されました。

主張発表大会では、東北北海道ブロック代表として本県から、滝根町商工会女性部 常任委員の石田美由紀さんが「女性部活動に参加して～再生は地域とともに『きむコロ物語』～」をテーマに、英語を交えて表現豊かに発表をし見事最優秀賞に輝きました。

女性部の力で笑顔溢れる活気ある町に蘇らせたい!との強い想いから始まった『きむコロ』再生事業。地域の子供達にも親しまれるようになった様子や、今後は世界に発信していきたいとの意気込みを伝えました。



滝根町商工会女性部 二瓶恵美子部長より

震災をきっかけに取り組んだ私たちの活動に

全国一の🌸を頂戴しました。他の商工会女性部員たちからは、

わあ、大変!!

毎週?

よく続くねえ!等など…揶揄とも捕られるような発言を耳にしましたが、こうして私たちの活動が認められ、県内各部のめざすべき活動の一助として貢献できたことは、何事にも代えがたい喜びです。また、私たち自営業者の井戸端会議に似た作業が、細く長く継続できた秘訣と感じています。

これからは、ここを終着点とせず、若い部員たちがこのきむコロ物語をどのような形で継承していただけるのか。私たちは、新たな出発点として捉え、今後の活動を力強く後押ししていく思いです。滝根町民とともに受賞したと云っても過言じゃないこの最優秀賞は町民の誇りです。ありがとうございました。

石田美由紀さんより

名誉ある賞を頂きありがとうございます。

『きむコロ』をご支援下さったすべての皆様に感謝申し上げます。

町を元気にしたい一心で始めた『きむコロ』再生事業が、この11年間様々な展開をし最も驚き勇気づけられて来たのは私たち自身です。いただいた元気を形に変え、復刻させたきむコロを絶やすことなく次世代の子供たちに継承したいと思います。

田村市を来訪される観光客のために新たな味を開発し、きむコロをご当地グルメとしてさらに発展させたいと思います。また、多くの食事制限を持つお客様にも食べていただけるよう工夫を続けます。

女性部活動は他人

のためならず!

今後とも滝根町商工会女性部の『きむコロ』をごひいきに!



「実質的支配者リスト」 は法務局で！

会社の信用度アップで 業績アップを！！

手数料は無料！

実質的支配者リスト制度・法務省



会社の実質的支配者を明らかにすることで、法人が悪用されることを防止し、会社の信頼性が向上します。



会社・法人の登記はオンライン申請又は QRコード付き書面申請で！



自宅のPCで登記の
進捗がわかる！

※ QRコード付き書面申請とは、申請用総合ソフト（無料）を利用して作成した申請書の情報を、インターネット経由で事前送信した後、QRコードが印字された登記申請書を印刷して、登記所に提出する書面申請の方法です。法務局又は公的個人認証等の電子証明書をお持ちでなくても、オンライン申請と同様のメリットがあります。

登記ねっと



法務局 QRコード申請



法務局職員
がサポート
します！



詳しくは
こちらを！



お問い合わせ先

〒960-8021 福島市霞町1-46 (福島合同庁舎)

福島地方務局法人登記部門 024-534-1904 (直通)

INPIT 福島県知財総合支援窓口

知財のことならご相談ください
(相談・支援は無料です)

特許

TEL 024-963-0242

商標

意匠

一般社団法人福島県発明協会

著作権

